

## ラジオ体操は郷土の宝 ラジオ体操コンクールを開催

11月30日、第4回ラジオ体操コンクールが池の川さくらアリーナで開催されました。このコンクールは、本市出身の遠山喜一郎さんが考案した郷土の宝「ラジオ体操」に親んでもらうことなどを目的とし、毎年実施しているものです。4回目となる今回は、応募があった47団体の中から動画による予選を通過した14団体、およそ260人が参加。日々の練習の成果を披露し、ラジオ体操の基本動作や技術を競いました。審査員長を務めた日立市ラジオ体操普及協議会の及川謙治会長は「ラジオ体操は誰でも気軽に楽しめるもの。これからも皆さんとともに広めていきたい」と話しました。



4回 日立市ラジオ体操コンクール 河原子海っ子チーム



日立市ラジオ体操コンクール 助川中学校吹奏楽部 武羅祀



4回 日立市長杯ラジオ体操コンクール 6年11月30日 明秀 Sports Supporters Club 市ラジオ体操普及協議会



日立市ラジオ体操コンクール 河原子グルグル



4回 日立市長杯ラジオ体操コンクール 日立市レスリングクラブ GO FOR THE GOLD チームタックル! 三世代

部門	第1位	第2位	第3位
小学生	河原子海っ子チーム	水木小学校	塙山小学校運動委員会
中学生	助川中学校吹奏楽部 武羅祀	多賀中学校吹奏楽部	多賀中学校男子バレーボール部
高校生・大学生	明秀 Sports Supporters Club	magna1610 (明秀日立高サッカー部)	—
事業所	河原子グルグル	日立製作所野球部	株式会社 Union Works オブリガード
地域団体	チームタックル! 三世代	DELICIOUS ☆ジュエル feat. ゼンホリ	日立市消防団第12分団

\* 日立市長特別賞＝株式会社 Union Works オブリガード（会場にいる皆様に元気と勇気を届けてくれたため）

飛躍の一年を終えて

中日・細川成也選手が凱旋



12月5日、中日ドラゴンズの細川成也選手が市役所を訪れ、市長に一年の活動を報告しました。明秀学園日立高出身の細川選手は、自身初となるシーズン全試合に出場し、打率、本塁打、打点などの打撃主要部門でチームトップとなる活躍を見せ、セ・リーグベストナインにも初めて選出されるなど、充実の一年となりました。市長訪問後は、明秀学園日立高が令和6年度から始めた放課後イベントに参加。「苦しい時も夢や目標を持って悔いがないように過ごしてほしい」と後輩にエールを送りました。

持続可能なまちづくりを

東京ガスと協定を締結



11月28日、市と東京ガス株式会社は「持続可能なまちづくりの実現に向けた包括連携協定」を締結しました。この協定は、地域が抱えるさまざまな課題解決に向けて連携・協働し、強靱で魅力あふれる持続可能なまちづくりの実現や地域社会の更なる発展を目的としています。小川市長は、「ゼロカーボンシティひたちの実現に向け、再生可能エネルギーの導入やデジタル技術を活用したエネルギー利用の最適化、子どもたちへの環境教育などに連携して取り組んでいきたい」と話しました。

地域の足として活躍

助け合いなかさとが15周年



11月26日、中里地区で乗り合いタクシーを運営するNPO法人「助け合いなかさと」が設立15周年の記念誌を作成し、市長へ報告しました。代表理事の石川諒一さんは、「地域に愛されるなかさと号を末永く運行していきたい」と話しました。延べ3万7千人が利用している「なかさと号」。これからも地域の貴重な交通手段として活躍が期待されます。

日立市初開催

日立アルプストレイルランニング大会



12月8日、日立アルプスを舞台にしたトレイルランニング大会「日立アルプス OCEAN トレイル2024」が開催されました。当日は雪が舞う厳しい寒さのなか、レベルごとに3コースが用意され、初心者から上級者まで、総勢559人が駆け抜けました。参加者は、「助川山から見た海が絶景で、思い出に残る大会になった」と振り返りました。

市と日立製作所の共創プロジェクト

ひたち次世代モビリティフェス



12月7・8日、日立シビックセンター新都市場やヒタチエ周辺で「ひたち次世代モビリティフェス」が初開催されました。イベントでは、日立製作所の自動運転車両やパーソナルモビリティなどの多様なモビリティの乗車体験のほか、スタンプラリーや遊び体験などが行われ、家族連れを中心に、多くの人々ににぎわいを見せていました。

